

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	丸山孝幸
全体計画						経費区分	-		内線	245-1770	
事務事業名	4234 動物園管理運営事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費									
	事業	040000 動物園管理運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
来園者に親しまれるとともに市民の憩いの場となる動物園にする。						動物の展示方法の工夫、様々なイベントの実施、園内でゆっくりとくつろげる空間づくり等を行い、「いやし、ふれあい」を提供して入園者増を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
入園者：156,913人	入園者：136,576人
平成29年度 実績	平成30年度 実績
入園者：142,755人	入園者：134,919人
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
入園者：150,000人	入園者：150,000人

指標名	須坂市動物園入園者数				
算式	年間入園者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標	160,000	150,000	150,000	150,000
	実績	136,576	142,755	134,919	
指標選定の理由	須坂市動物園の特徴である「ふれあい」と「いやし」を充実することにより、入園者増を図る。				
最終年度目標の根拠	過去の実績を基に算定。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		55,153	69,100
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	20,610	27,746
一般財源		34,543	41,354
人員数(人)	正規職員	5.9	5.9
	嘱託職員	3.4	3.4
	臨時職員	7.3	7.3
人員コスト	正規職員	42,185.0	42,185.0
	嘱託職員	9,775.0	9,775.0
	臨時職員	9,088.5	9,088.5
	計	61,048.5	61,048.5
市民一人当たりの経費		2.2	2.5
総額		116,201.5	130,148.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	242	写生大会審査員謝礼等謝礼242
11節 需用費	19,262	消耗品費1,092 燃料費498 印刷製本費970 光熱水費6,329 修繕料2,780 飼料費7,193 医薬材料費400
13節 委託費	3,648	施設管理2,414 保守点検33 シルバー人材センター356 その他845
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	302	負担金302
その他	31,699	嘱託臨時人件費26,869 旅費358 役務費1,614 使用料298 原材料費1,100 備品購入1,296 積立金164

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	270	写生大会審査員謝礼等謝礼等謝礼270
11節 需用費	21,429	消耗品費1,194 燃料費618 印刷製本費890 光熱水費6,127 修繕料5,000 飼料費7,200 医薬材料費400
13節 委託費	3,878	施設管理2,587 保守点検33 シルバー人材センター391 その他867
15節 工事請負費	3,240	工事請負費3,240
19節 負担金補助及び交付金	316	会議等出席負担金316
その他	39,967	嘱託臨時人件費26,629 旅費365 役務費2,043 使用料456 原材料費500 備品購入9,926 積立金41 公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	公益社団法人日本動物園水族館協会が掲げる動物園の役割の4項目のうち、①命に触れる憩いの場、②楽しく学ぶ教育・環境教育の二つを担っている。 幼稚・保育園の園児、小・中学生の児童・生徒たちが生き物の生と死を学ぶことや、現代のストレス社会に対し「動物による癒し、ふれあい」により、心と体の健康を作る「アニマルセラピー」の現場を担っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	例年、市の人口の2.5倍を超える入園者数があるが、屋外施設につき、天候に左右されてしまう。 土・日曜日にイベントを計画していても雨天により、集客が無いこともある。また、近年は夏季期間の猛暑により、外出を控える人が多いことも要因のひとつとなっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	施設全体の老朽化による修繕費用など、維持管理費用の増額が懸念される。 今後、指定管理者制度の可能性について検討していく予定。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

毎月、様々なイベントを企画することで、リピーターの増加に努めている。
 SNS（市のHP、ブログ、ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム）や情報誌への情報提供により、情報発信に努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>情報発信や様々なイベントを工夫するとともに、職員が一丸となった取り組みが必要。 施設の老朽化や入園者数の減少が懸念され、施設の活性化を含め官民連携事業の導入可能性調査を実施していく。</p>		<p>様々なイベントの実施と、SNSなどによる情報発信により、小さな動物園であるが、多くの来園者を引き続き来ていただけるように工夫をしながら進めていく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	